

令和6年度 近畿北陸学生ヨット選手権個人戦  
レース公示

Version 28 June 24

NOR5・6

11.1 文章変更

10.3 文書変更

1. 共同主催 NPO 滋賀県セーリング連盟 京都府セーリング連盟  
近畿北陸学生ヨット連盟
2. 後援 富山県セーリング連盟  
石川県セーリング連盟
3. 場所 滋賀県立柳ヶ崎ヨットハーバー
4. 競技種目 国際470級、国際スナイプ級
5. 大会期日 令和6年6月28日～6月30日
6. 競技日程

6月28日	主将会議	16:00
6月29日	開会式	8:10
	ブリーフィング	開会式に引き続き行う。
	470級予告信号	10:00
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	1日目第2レース以降	前のレースに引き続き行う。
6月30日	ブリーフィング	8:20
	470級予告信号	9:30
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	それ以降のレース	前のレースに引き続き行う。
	閉会式	

- 6.1 本大会のレース数は両クラス共に、最大8レースとする。1日のレース数は定めない。
- 6.2 6月29日は16:00を過ぎての、6月30日は14:00を過ぎての予告信号は発しない。
- 6.3 帆走指示書はエントリーフォーマット配布の段階で各大学に配布する為、主将会議での配布は行わない。

## 7. 規則

- 7.1 本大会は「セーリング競技規則」(以下「RRS」という)に定義された規則を適用する。

## 令和6年度近畿北陸学生ヨット連盟

但し、帆走指示書は、RRSの一部を変更している。

- 7.2 [DP]本大会は、現行の「470級学連申し合わせ事項」、「スナイプ級学連申し合わせ事項」及び『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 7.3 本大会は、RRS付則Pを適用する。但し、RRS付則P中の「セール番号」は「リコールナンバー」で代える。
- 7.4 本大会は、RRS付則Tを適用する。
- 7.5 RRS87及び470クラス規則A6.2に基づき、470クラス規則の規則C節に次の文章を追加する：「完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてもよい。」
- 7.6 RRS87及びスナイプクラス規則A6に基づき、スナイプクラス規則の規則C節に次の文章を追加する：「完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてもよい。」
- 7.7 SCIRA 規則の『国内及び国際選手権大会の運営規定』は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。

### 8. 参加資格

- 8.1 競技者は、(公財)日本セーリング連盟2024年度メンバーであって、かつ、全日本学生ヨット連盟規約第6条を満たしていなければならない。
- 8.2 470級の競技者は、公示8.1に加えて、日本470協会2024年度団体登録を済ませた団体に所属する者でなければならない。
- 8.3 スナイプ級の競技者は、公示8.1に加えて、2024年度SCIRA会員登録を済ませていなければならない。
- 8.4 両クラスとも1艇につきスキッパー1名に加え、クルー2名まで登録してもよい。登録したクルーで交代を行ってもよい。
- 8.5 各大学、各クラスにつき複数チームでの参加を認める。参加しようとするチームは、公示8.1から8.3を満たす競技者を、公示9に従って登録しなければならない。

### 9. エントリー

#### 9.1 エントリー申し込み

- ①エントリーフォーマットを近畿北陸学生ヨットHP「各種書類」よりダウンロード
- ②エントリーフォーマットに必要事項を記入
- ③近畿北陸学生ヨット連盟宛にエントリーフォーマットをメールで送信する

メールアドレス：kinhokugakuren.biwako@gmail.com

#### 9.2 エントリー

(1)エントリー料：1艇 5,000円

※エントリー料については、期日6月22日(土)までに振り込みを行う。振込は個人名ではなく、大学名とすること。

振込先は右の通り。近畿北陸学生ヨット連盟

キンキホクリクガクセイヨットレンメイ  
滋賀銀行 瀬田駅前支店(190) 普通 580905

## 10. [DP]艇

- 10.1 艇は、現行の「470級学連申し合わせ事項」または「スナイプ級学連申し合わせ事項」を満たさなければならない。
- 10.2 470級の艇は、公示10.1に加えて、日本470協会2024年度団体登録を済ませた大学に所属する艇でなければならない。
- 10.3 スナイプ級の艇は、公示10.1に加えて、2024年度デコールシールを貼ってあるものでなければならない。
- 10.4 原則として自校所有艇とするが、レース委員会の承諾を得た場合チャーター艇でも可とする。チャーター艇の場合でも公示10.1、10.2、10.3を満たさなければならない。
- 10.5 艇は、チャーター艇の場合を除き「艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項」に定められた表示をしなければならない。

## 11. [DP]セール

- 11.1 セールは、各自持参したものを使用すること。
- 11.2 470のメインセールとスピネーカーのナンバーは一致していなければならない。
- 11.3 同一のセールナンバーを複数のセールで同時に使用するの認めない。
- 11.4 セールには、レース委員会により指定されたりコールナンバーを、次の図に示す位置に付けなければならない。リコールナンバーの色は、470級は赤、スナイプ級は黒とし、スターボード側を上、ポート側を下にして貼らなければならない。また、リコールナンバーは各クラスの記章と重ならないよう、記章より上部に貼らなければならない。  
【帆走指示書添付図A】に記載する。

## 12. コース

- 12.1 【帆走指示書添付図B】は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 12.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 12.3 予告信号以前に、レース委員会信号艇にコースを指示する文字を掲示する。  
コースを示す文字と、通過するマークの順序を【帆走指示書添付図B】に示す。

## 13. 艇が出会った場合

艇がタックするためのルームが必要であること、または声掛けに応じることを示す代替手段として、対象の艇を目視し、手を水面と並行に大きく振ることとする。

## 14. 得点

- 14.1 艇の得点は、完了したレースが4レース以下の場合には全レース得点の合計とし、5レース以上完了した場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 14.2 本大会の成立には、1レースを完了することが必要である。
- 14.3 『除外できない失格(DNE)』を課された艇には、シリーズに参加した艇の数に5を加えた得点が記録される。これはRRS A5.2を変更している。

#### 15. [DP]支援艇・応援艇

- 15.1 支援艇・応援艇は、レース委員会に指定された緑色旗を目立つように表示しなければならない。
- 15.2 支援艇・応援艇は、規則に従わなければならない。
- 15.3 支援艇・応援艇の代表者は、プロテスト委員会から要請された場合、公示 15.2 に基づく審問に出席しなければならない。
- 15.4 RRS37 に基づき、レース委員会が音響信号一声と共に V 旗を掲揚した場合、全ての運営艇、支援艇は可能な場合には、捜索と救助の指示を受けるためにレース委員会の無線の通信チャンネルを聴取しなければならない。

#### 16.肖像権

シリーズ期間中の映像、写真及びシリーズの成績は主催団体のウェブサイトに掲載される場合がある。

#### 17. 賞

賞は次のように与える。

各クラス賞状 1~6 位

また、各クラス 1~6 位までのチームに、全日本学生ヨット選手権大会個人戦への出場権を与える。

辞退するチームがあった場合、次点を繰り上げて出場権を与えるものとする。

#### 18.責任の否認

本大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS3 参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

#### 19. 競技者への通告

競技者への通告はRacing of sailing(以下、「オルグ」という)

【[https://www.racingrulesofsailing.org/events/8530/event\\_links?name=5-sailing-event](https://www.racingrulesofsailing.org/events/8530/event_links?name=5-sailing-event)】において掲示される。また、本大会に関わる文書・情報はLINEオープンチャットにも情報を展開する。本大会参加者は下のQRコードからLINEオープンチャット上での名前は、「セールナンバー+S(スキッパー/Cクルー+氏名)」とすること。

以上



